

AZABU ALPINE CLUB

ALUMNI NEWSLETTER

麻布学園山岳部 OB 会会報第十九号 - 2018 年 6 月 - 発行者 AAC OB 会

会員の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のことと思います。本年は八ヶ岳山荘の 40 周年にあたります。9 月 1～2 日に山荘に集まって、来し方行く末を語り合いたいと計画しています。

定期総会

5 月 26 日(土)麻布学園の地学講義室にて、会員 18 名、先生 1 名の出席のもと通常総会が開催され、活動報告、会計報告、新会員、役員人事につき、以下のとおり承認されました。



役員人事

現役員の任期満了に伴い、以下のとおり新役員が就任しました。

会長：太田高嗣 (S43)、理事長：太田弘一 (S47)

理事：武藤光盛 (S42 山荘委員長)、岩城達之助 (S55 広報)、小澤徹 (S59 事務局長)、南谷達郎 (H2 会計)、渡辺耕坪 (H27 事務局)、渡邊真之 (H24 サポート委員長)、頼哲誼 (H26 サポート)、難波啓太 (H28 サポート)、吉田直樹 (H28 事務局・サポート)、小林将大 (H30 サポート)、長谷川篤紀 (H30 サポート)

監事：森美文 (S44)、矢部善兵衛 (S44)

会員動向

本年は新卒の OB 8 名が新たに会員に加わりました。敬称略順不同、小林将大、小原健人、小田宗一郎、建石航希、長谷川篤紀、辛柱岸、佐藤薫、福田英史 (写真下～一部)。

また、特別会員の廣田様が退会されました。



平成 29 年度一般会計

収入の部		支出の部	
会費収入 (41 名)	130,000	通信連絡費 (会報等)	77,799
忘年会費	63,000	忘年会支出	80,549
		山行交通費	0
		ホームページ運営費	5,142
		安全講習会	53,100
		会議費	9,900
		慶弔費	3,974
		雑費	26,784
収入合計	193,200	支出合計	257,248

当期収支 ▲ 64,048
前期剰余金 409,803
70 周年寄付金繰越 258,019
当期末剰余金 603,774

平成 29 年度八ヶ岳山荘運営会計

収入の部		支出の部	
利用料収入 (198 人)	333,000	水道光熱費	143,584
受取利息	0	通信費	3,342
雑収入	200	支払保険料	18,930
		消耗品費	1,084
		固定資産税等	63,500
		修繕費	13,920
		備品購入費	9,698
		雑費	11,863
収入合計	333,297	支出合計	265,917

当期収支 139,884
前期剰余 949,257
当期末剰余 1,089,141

会員投稿

会員の皆さまより近況などをお寄せ頂きました。

加藤和彦 (S35 卒)

後私の代は、福井、片桐、横田、金井、大熊、齋藤、宮崎に私を入れて 8 名で、当時としては、多い方だった。



1957(左)、1960(右)の夏合宿より。加藤さん、福井さん、片桐さん、金井さん、齋藤さん、宮崎さんの姿が見える

え？今？山？ そういえば、宮崎は中国語をそこそこなし、山にかぎらず中国国内をずみずみまで行って、友をつくり、不思議な男だったが、残念ながら、もうこの世にはいない。そう、それから齋藤は、大学でも山岳部に入り、本格的な登山家だったかもしれない。その他の者は、山に関して何ともなさない者ばかりである。というものの、何人かでカトマンズに入りヒマラヤの麓へは何度か行き、それなりの登山家みたいなカッコを試みたりもしたもんだ。

若い諸君よ。聞きたい事があれば何でも聞いてけっこう。答えをだしますよ。

AZABU ALPINE CLUB

ALUMNI NEWSLETTER

麻布学園山岳部 OB 会報第十九号 - 2018年6月 - 発行者 AAC OB 会

■ 横田重雄 (S35 卒)



麻布をでてから五十八年経ったが、つい昨日の事に思える今日この頃である。体のあちこちに不調がでてここ数年山から遠ざかって多少焦りを感じている。山行の記録を纏めようとしているが、五十迄は、登山計画も作らずに唯闇雲に登っただけで、あの山に行った事は思い出しても、その山行がどうだったかは、はっきりとはしない。今更ながら登山の都度感想分等を書いておくのだったと後悔している。地図に登った山に印をつけてみたが思った程多くはない。記憶から抜けている山もあるかもしれない。中部・関東・東北に偏り、その他の地方は疎らである。これから残った人生で、今まで登った山を再訪することに使うか、新たに山を増やすか思案中である。

■ 岩城達之助 (S55 卒)

齢 50 を過ぎて仕事をフェイドアウトし始めてから、また山に接する機会が増えてきた。



昨年は念願のパタゴニアまで出かけ、フィッツロイ山群のはずれに位置するモホンロップ峰に挑戦してきた。しかし、強風のため敢えなく途中で断念。BCの岩室で各国からやってきたクライマー達と食事を分け合ったのは良い思い出となった。フィッツロイ、セロトーレなどの勇姿は今でも目に焼きついている。近いうちにまた出かけていきたいと願っている。写真は BC(La Cueva) より POINCENOT と雲の中の FITZ ROY。

■ 直井昌士 (S55 卒)

最近の興味は、100km を超えるウルトラランニングから、ベアフットランニング(裸足ランニング)に移りつつあって、低山にサンダルで出かけたりしております。

どうでもよいことですが、飯能・加治神社裏手の奥武蔵自然歩道は、裸足ランナーの聖地と呼ばれております。私もいずれは裸足で山を歩き走りたいのですが、道は遠いと感じています。

(靴を履いての) 夏山のファストトレッキングや、テント泊山行なども引き続き楽しんでおります。昨夏ははじめてトムラウシに行き、山の大きさに圧

倒されました。写真は、昨夏の、五色ヶ原から薬師越えワンディの途中、越中沢岳でのスナップです。



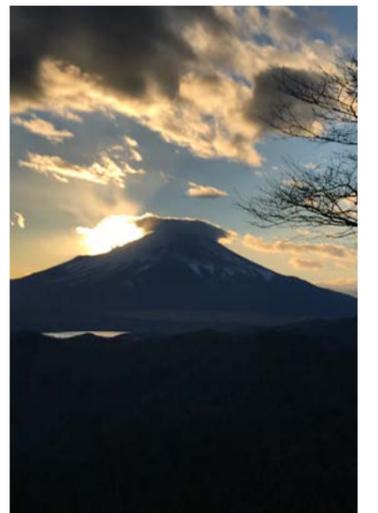
■ 南谷達郎 (H2 卒)

5 年前からランニングを始め、ちよくちよくマラソンやトレイルランニングをやります。2018 年走り初めは、山梨県道志村の菟釣山(こもつるしやま)トレイルランニング。

計算では、1 月 6 日はちょうど、この山からダイヤモンド富士が見えるはず。午後 1 時 30 分、遅めのスタート。私以外の登山者は皆無で軽快に飛ばし、午後 4 時山頂に到着。

薄着のトレラン装備で、寒さに震えながら待つこと 40 分。いよいよダイヤモンド富士 GET! と思いきや、富士山頂のわずかに左を日没。惜しい!

とはいえ、山中湖と富士山と夕日のコントラストは正に絶景でした。



現役・2017年の夏合宿・北岳で



麻布学園山岳部ホームページ
<http://www.a-a-c.net/>

最新情報は
こちらへ!



麻布学園山岳部現役ブログ
<http://geneki.a-a-c.net/>



麻布学園山岳部 OB 会事務局・小澤 徹